

令和6年度提携事業実施結果

(1) 行政施策の立案及び実施に関すること

番号	事業名	区分	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施結果（令和7年3月末日時点）
1	伊勢原市行財政改革推進委員会	継続	企画部 経営企画課 行政経営担当	政治経済学部 政治学科 小林 隆 教授	市の行財政運営の点検を行い、伊勢原市行財政改革推進計画の進捗状況について意見を述べる。	期日 ①8月19日、②11月13日、 ③1月29日、④3月24日
						場所 市役所 会議室
						内容 伊勢原市行財政改革推進計画の進捗状況
						参加者数 委員8名
成果及び課題 市の行財政運営の点検を行い、評価をしていただいた。						
2	伊勢原市環境対策審議会	継続	経済環境部 環境対策課	医学部 医学科 基盤診療学系 立道 昌幸 教授	環境基本計画の年度報告書など環境対策に関する重要な事項を調査審議する。	期日 11月27日
						場所 市役所 全員協議会室
						内容 第3次伊勢原市環境基本計画令和5年度報告
						参加者数 10名
成果及び課題 専門的見知から御意見をいただいた。						
3	伊勢原市地域福祉計画推進委員会	継続	保健福祉部 福祉総務課	教育開発研究センター 御領 奈美 准教授	伊勢原市地域福祉計画の円滑な推進を図るため、計画の進捗状況の点検、改善及び施策の充実方法等について審議を行う。	期日 1月22日
						場所 市役所 第2委員会室
						内容 伊勢原市地域福祉計画の点検評価
						参加者数 —
成果及び課題 —						

(2) 保健、福祉及び医療等の推進に関すること

番号	事業名	区分	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施結果（令和7年3月末日時点）
1	災害時医薬品の供給業務	継続	企画部 危機管理課	医学部付属病院 薬剤部 薬剤科 平綿 洋子 科長	災害時における医薬品の供給に関する協定に基づき、災害時医薬品の備蓄・管理を行う。	期日 通年
						場所 市内7か所医療救護所
						内容 災害時医薬品管理及び更新
						参加者数 4名
成果及び課題 災害時医薬品の適正管理を実施した。						
2	救急車同乗実習	継続	消防署 消防管理課	医学部 医学科 総合診療学系 中川 儀英 教授	現場救急医療から院内医療への救命リレーの重要性を学習する。	期日 5月16日～6月11日
						場所 伊勢原市消防署本署
						内容 東海大学医学部6年生が消防署へ当直し、救急車へ同乗
						参加者数 医学部6年生7名、本署救急隊員
成果及び課題 病院前救護の現場を自ら経験し、救急隊と病院との連携の重要性を学ぶことができた。						

3	伊勢原市派遣型救急ワークステーション	継続	消防署 消防管理課	医学部 医学科 総合診療学系 中川 儀英 教授	救急隊を病院に派遣し救急救命士の再教育を行うとともに、医師同乗で出動し救命率の向上を図る。	期日	4月15日～3月24日
						場所	東海大学医学部付属病院高度救命救急センター
						内容	救急救命士の再教育研修 医師同乗で出動し、重症傷病者の救命率の向上を目指す
						参加者数	救急隊32名及び救命センター医師・看護師
						成果及び課題	救急救命士の再教育研修を行いながら、重症疑いの傷病者への早期医療介入を行うことができた

(3) 市が設置する各種審議会及び専門委員会等への名材派遣に関すること

番号	事業名	区分	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施結果（令和7年3月末日時点）	
1	伊勢原市情報公開審査会	継続	総務部 文書法制課	法学部 法律学科 押久保 倫夫 教授 塩原 真理子 准教授	情報公開請求の可否決定に対する審査請求や情報公開制度の在り方に関し、市長などからの諮問に応じて調査審議し、その結果を報告する。	期日	2月14日
						場所	市役所 第2委員会室
						内容	(1) 会長の選出について (2) 職務代理の指名について 他
						参加者数	5名
						成果及び課題	会長及び職務代理が選任された。
2	【新規】 伊勢原市民文化会館運営審議会	新規	市民生活部 市民協働課 市民文化会館担当	教養学部 芸術学科 檜垣 智也 准教授	改修後の市民文化会館の管理運営について、指定管理者制度の導入の有無や受益者負担の適正化(使用料金の見直し)などの審議を行う。	期日	12月19日
						場所	市民文化会館練習室1
						内容	諮問に向けた市民文化会館の概要説明等
						参加者数	11名
						成果及び課題	市民文化会館の運営に関する事項について調査及び審議を行った。
3	伊勢原市人権施策推進委員会	継続	市民生活部 人権・広聴相談課	事務部事務課(総務) 桑久保 ひとみ 課長 法学部 法律学科 押久保 倫夫 教授	本市が展開・実施する各種人権施策について、評価・点検等を行い、人権施策の総合的推進を図る。	期日	①7月25日②9月13日
						場所	①市役所 全員協議会室 ②市役所 3B会議室
						内容	委嘱式、委員長及び副委員長選出、伊勢原市人権施策推進指針(改定版)に係る令和5年度の取組に関する点検・評価について
						参加者数	①9名②10名
						成果及び課題	専門的見地から御意見をいただいた。
4	伊勢原市清掃美化審議会	継続	経済環境部 清掃リサイクル課	教養学部 人間環境学科 勝田 悟 教授	清掃に関する制度の改善整備及び清掃美化に関する根本的対策を調査審議する。	期日	7月22日
						場所	市役所 全員協議会室
						内容	環境衛生事業の概要、草木類のステーション収集、ごみの持ち去り
						参加者数	11名
						成果及び課題	専門的見地から御意見をいただいた。
5	伊勢原市社会福祉審議会	継続	保健福祉部 福祉総務課	医学部 看護学科 吉川 隆博 教授 教育開発研究センター 御領 奈美 准教授	市長の諮問に応じて社会福祉に関する事項について調査審議する。	期日	11月11日
						場所	市役所 全員協議会室
						内容	包括的支援体制整備事業 他
						参加者数	11名
						成果及び課題	専門的見地から御意見をいただいた。

6	伊勢原市成年後見・権利擁護推進委員会	継続	保健福祉部 福祉総務課	法学部 法律学科 塩原 真理子 准教授	成年後見制度の利用促進及び伊勢原市成年後見・権利擁護推進センターの適正な事業運営に関する事項について検討する。	期日	①8月5日 ②2月28日
						場所	①市役所 3B会議室 ②市役所 3B会議室
						内容	①伊勢原市成年後見・権利擁護支援センター事業実績・計画
						参加者数	①11名 ②11名
						成果及び課題	専門的見地から御意見をいただいた。
7	伊勢原市障害支援区分判定審査会	継続	保健福祉部 障がい福祉課	医学部 看護学科 吉川 隆博 教授	介護給付に係る障害支援区分に関する審査と判定を行う。	期日	毎月3回(第2金曜日、第1水曜日、第4火曜日)
						場所	市役所 会議室
						内容	介護給付に係る障害支援区分に関する審査と判定
						参加者数	5名
						成果及び課題	専門的な御意見、御判断をいただき、障害支援区分の判定をすることができた。
8	伊勢原市障がい者くらしを考える協議会	継続	保健福祉部 障がい福祉課	健康学部 健康マネジメント学科 中越 章乃 講師	障害者及びその家族の個々の事情に即したサービスが提供されているか、また伊勢原市における地域課題や、施策提案等について確認し、協議、検討を行う。	期日	①7月4日 ②10月4日 ③2月3日
						場所	①②市役所 会議室 ③シティプラザ ふれあいホール
						内容	・地域課題や施策提案等の協議検討 ・障害者計画、障害福祉計画、障害児福祉計画の策定及び点検評価 ・困難事例への対応のあり方 ・その他地域の障害福祉の検討事項
						参加者数	20名程度(協議内容により変更あり)
						成果及び課題	各専門部会からの報告及び提案事項等について意見、助言をいただき検討することができた。
9	介護保険運営協議会	継続	保健福祉部 介護高齢課	健康学部 健康マネジメント学科 岡本 武志 准教授	介護保険事業の運営に関する事項及び地域包括支援センターの運営等に関する事項の審議や高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進行管理を行う。	期日	①8月1日②11月18日③2月13日
						場所	市民文化会館 練習室1、 市役所 2C会議室
						内容	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画関連等
						参加者数	各回12名程度
						成果及び課題	専門的見地から介護保険運営についての御意見をいただいた。
10	伊勢原市介護認定審査会	継続	保健福祉部 介護高齢課	教育開発研究センター 船水 浩行 教授	介護保険法に規定するもののほか、生活保護法第6条に規定する被保護者であって40歳以上65歳未満の者に係る審査判定業務を行う。	期日	【実施済み】83回 ※原則月10回開催とし、10合議体の審査会のうち、各委員は10合議体のいずれか1つの合議体に所属し、月1回出席する。(審査件数が少ない場合、委員が集まらなかった場合には中止となる)
				医学部医学科 内科学系 永田 栄一郎 教授		市役所 公害棟会議室等	
				健康学部 健康マネジメント学科 阿部 正昭 教授			
				医学部付属病院看護部 西野 隆一 看護師長			
				医学部付属病院看護部 佐藤 政代 看護師長			
医学部付属病院 診療技術部 リハビリテーション技術科 野中 拓馬 係長							
医学部付属病院 診療技術部 リハビリテーション技術科 池尻 正枝 科長補佐	参加者数	各回 委員4名、事務局2名					
医学部看護学科 森口 ふさ江 特任講師	成果及び課題	専門的見地から意見等をいただき、各回平均45件程度の要介護認定を決定した。					
医学部看護学科 安藤 泰久 特任助教							

11	伊勢原市在宅医療と介護連携推進会議	継続	保健福祉部 介護高齢課	医学部 医学科 総合診療学系 小澤 秀樹 教授 医学部 看護学科 端山 淳子 准教授 医学部付属病院 患者支援センター 総合相談室 細金 操 室長	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしができるよう、地域における医療と介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療と介護サービスを提供する体制構築を推進するため会議を開催し、課題に対する対策を検討する。	期日 ①7月31日②10月30日③2月26日 場所 市役所 2C会議室(集合とオンラインによるハイブリット開催) 内容 在宅医療介護連携推進ほか 参加者数 各回16名程度 成果及び課題 各専門の見地から在宅医療介護連携に関する御意見をいただいた。
12	伊勢原市予防接種健康被害調査委員会	継続	保健福祉部 健康づくり課 感染症対策担当	医学部 医学科 総合診療学系 小澤 秀樹 教授	予防接種法に基づき実施した予防接種により発生した健康被害について、当該被害の適正かつ円滑な調査を行う。	期日 8月21日 場所 市役所2C・2D会議室 内容 予防接種健康被害の調査 参加者数 10名(内、市職員は事務局含め4名) 成果及び課題 医療情報などの個人情報を取り扱う会議を開催した。
13	伊勢原市スポーツ推進審議会	継続	保健福祉部 スポーツ課	体育学部 生涯スポーツ学科 野坂 俊弥 教授 医学部 看護学科 榊原 麻弥 助教	市民生涯スポーツ推進計画に基づき、市民が主体の生涯スポーツ社会の実現に向けたスポーツ活動の推進策などを審議する。	期日 ①8月1日、②12月5日、③2月5日 場所 市役所 2C会議室 内容 スポーツ関係団体補助金額やスポーツ賞被表彰者の審議等 参加者数 12名 成果及び課題 専門の見地から御意見をいただいた。
14	伊勢原市国民健康保険運営協議会	継続	保健福祉部 保険年金課	教育開発研究センター 御領 奈美 准教授	国民健康保険事業の運営に関する重要事項を審議する。	期日 ①9月2日 ②11月27日 ③12月26日 場所 ①市役所 第3委員会室 ②市役所 第3委員会室 ③市役所 第3委員会室 内容 国民健康保険の財政運営状況の報告、税率改定等の見直しについての諮問、協議等 参加者数 委員9名 成果及び課題 専門の見地から御意見をいただいた。
15	伊勢原市子ども子育て会議	継続	子ども部 子ども育成課	児童教育学部 児童教育学科 及川 留美 准教授	子ども・子育て支援事業計画に関する進行管理、教育・保育施設等に関する事項を審議する。	期日 ①7月30日②8月27日③9月25日 ④10月23日⑤1月29日 場所 ①市役所 3B会議室 ②市役所 全員協議会室 ③市民文化会館 練習室2 ④市民文化会館 練習室2 ⑤市役所 全員協議会室 内容 ①(仮称)伊勢原市子ども計画の策定等 ②(仮称)伊勢原市子ども計画骨子(案)等 ③(仮称)伊勢原市子ども計画個別事業等 ④(仮称)伊勢原市子ども計画素案等 ⑤パブリックコメントの結果等 参加者数 ①12名②11名③10名④12名⑤10名 成果及び課題 専門的知見から御意見をいただいた。
16	伊勢原市要保護児童対策地域協議会	継続	子ども部 子ども家庭相談課	医学部付属病院 患者支援センター 総合相談室 細金 操 室長	子どもを守る地域ネットワーク構成員と連携強化を図り、児童虐待の発生予防、早期発見・早期対応について取り組む。	期日 ①7月5日②7月19日③2月14日 場所 シティプラザふれあいホール 内容 要保護児童対策地域協議会の令和4年度活動実績報告及び令和5年度取組方針等の協議 参加者数 ①23名②14名③25名 成果及び課題 地域における医療機関の立場から専門的助言をいただいた。

17	伊勢原市都市計画審議会	継続	都市部 都市政策課	建築都市学部 土木工学科 梶田 佳孝 教授	都市計画案件に関する審議等を行う。	期日	①6月3日②9月6日 ③11月22日④2月5日
						場所	市役所 全員協議会室
						内容	①伊勢原駅北口再開発に係る都市計画の変更他 ②伊勢原駅北口地区に係る都市計画の決定・変更他 ③伊勢原生産緑地地区の変更 他 ④都市計画道路田中笠窪線の都市計画の変
						参加者数	①15名②10名 ③11名④14名
						成果及び課題	委員の委嘱と、都市計画の案等の事項に関して協議し、答申をいただいた。
18	【新規】 伊勢原市空家等対策協議会	新規	都市部 建築住宅課	建築都市学部 建築学科 後藤 純 准教授	空家等対策計画の作成及び変更並びに実施に関する協議をする。	期日	①9月13日、②12月25日、③3月27日
						場所	市立図書館会議室等
						内容	空家等の対策を協議
						参加者数	委員12名、事務局4名
						成果及び課題	委嘱、計画策定について協議した。
19	伊勢原市下水道運営審議会	継続	土木部下水道経営課	観光学部 観光学科 西田 小百合 准教授	受益者負担金、下水道使用料、下水道の運営について審議するほか、下水道事業の運営に関する事項を調査・研究する。	期日	12月25日
						場所	市役所 全員協議会室
						内容	下水道事業の概要等を調査・研究
						参加者数	10名
						成果及び課題	専門的見地から御意見をいただいた。
20	教育委員会会議	継続	教育部 教育総務課	児童教育学部 児童教育学科 桑原 公美子 教授	教育委員会の取得全般(学校教育、社会教育及び歴史文化等)について、意見を述べたり、附議事項等の審議を行う。	期日	月1回(原則、第4週の金曜日)開催 【開催済み:13回(臨時会1回を含む)】
						場所	市役所 議会委員会室等
						内容	教育委員会の取組全般(学校教育、社会教育及び歴史文化等)
						参加者数	各15名程度
						成果及び課題	専門的見地から御意見をいただいた。
21	伊勢原市文化財保護審議会	継続	教育部 教育総務課 歴史文化担当	文学部 歴史学科 考古学専攻 北條 芳隆 教授	教育委員会の諮問に応じて、文化財の指定、その指定の解除、保存及び活用に関する専門的、技術的事項を調査審議し、教育委員会に建議する。	期日	3月27日
						場所	市役所第2委員会室
						内容	市文化財保護条例に基づく指定について 他
						参加者数	5名
						成果及び課題	専門的見地から御意見をいただいた。
22	【新規】 伊勢原市学校給食運営審議会	新規	教育部 学校教育課	児童教育学部 児童教育学科 神戸 佳子 特任教授	学校給食の運営に必要な事項につき教育委員会の諮問に応じて調査審議し、その結果を答申する。	期日	①11月1日 ②11月27日
						場所	市役所3B会議室
						内容	伊勢原市学校給食の運営に関する審議
						参加者数	①5名 ②6名
						成果及び課題	適正な給食費の額の審議ができた。

23	社会教育委員会 議	継続	教育部 社会教育課	総合教育センター 資格教育センター 社会教育学系 古里 貴士 准教授	文化や体育の振 興、家庭教育支援、 公民館運営等の社 会教育全般につい て、社会教育委員 会議に出席して意 見を述べる。	期 日	①5月17日、②9月20日、③1月31日、④3月24 日
						場 所	中央公民館会議室A
						内 容	社会教育全般
						参加者数	12名
						成果及び 課題	専門的見地から御意見をいただいた。
24	伊勢原市子ども 科学館運営協 議会	継続	教育部 図書館・子ど も科学館	理学部 化学科 藤尾 克彦 教授	子ども科学館の円 滑な運営を図るた めに協議をする。	期 日	①8月2日②2月19日
						場 所	市立子ども科学館会議室
						内 容	子ども科学館の運営
						参加者数	①委員5名②委員6名
						成果及び 課題	子ども科学館事業等について協議いただいた。
25	伊勢原市図書館 協議会	継続	教育部 図書館・子ど も科学館	総合教育センター 資格教育センター 学校教育学系 朝倉 徹 教授	図書館の円滑な運 営を図るために協 議をする。	期 日	①7月12日②1月24日
						場 所	市立図書館会議室
						内 容	図書館事業
						参加者数	①委員7名②委員5名
						成果及び 課題	図書館事業について協議いただくとともに会長 としてとりまとめいただいた。

(4) 市民活動、生涯学習活動、文化・芸術活動等への支援に関すること

番号	事業名	区分	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施結果（令和7年3月末日時点）	
1	市民公開講座	継続	保健福祉部 健康づくり課	医学部 医学科 内科学系 加川 建弘 教授	地域住民を対象と した公開講座を開 催する。(テーマは 肝疾患について)	期 日	9月7日
						場 所	東海大学伊勢原キャンパス 松前記念講堂
						内 容	肝疾患医療センター市民公開講座
						参加者数	61名
						成果及び 課題	肝疾患の治療や食事・画像診断について各分 野の専門が講演し、患者や一般市民・医療従 事者に向けた啓蒙活動を実施した。
2	総合型地域ス ポーツクラブ運営 事業	継続	保健福祉部 スポーツ課	医学部副学部長 医学部 看護学科 吉川 隆博 教授	市民の体力・健康 増進を図るため、年 間を通して、全8回 のスポーツ教室を3 種目と看護・社会福 祉・スポーツ運動講 座を設け、市民の継 続的な運動・スポ ーツ活動の展開を推 進する。	期 日	6月1日～3月29日
						場 所	東海大学伊勢原キャンパス・伊勢原市立武道 館・伊勢原市体育館
						内 容	ウイークテニス・スポーツ教室(筋トレ・ヨガ・エクササイズ)市民 健康スポーツ大学(座学・運動)
						参加者数	232名
						成果及び 課題	定員を超える申込はあったが、今後のクラブ運 営体制の検討が必要である。
3	子育て応援ボラ ンティア(ファミ リー・サポート・セ ンター支援会員、 子育てサポー ター)研修会・養 成講座	継続	子ども部 子育て支援 課	医学部 看護学科 杉村 篤士 講師	地域全体で子育て をサポートする名材 の養成・育成を図 るための講座を開 催する。	期 日	10月10日
						場 所	市役所 2C・2D会議室
						内 容	小児看護の基礎知識の講座
						参加者数	19名
						成果及び 課題	新規ファミリー・サポート・センター支援会員及 び子育てサポーターの研修会・養成講座並び に既存会員に対するスキルアップ研修を実施し た。

4	大学開放講座	継続	教育部 社会教育課	医学部副学部長 医学部 看護学科 吉川 隆博 教授 (その他関連学部) 健康学部 体育学部	健康、生活、福祉等の基本的な知識と技術を習得するための機会と場を提供する。	期日	①9月21日、②10月5日、③10月19日、④11月9日、⑤11月30日(全5回)
						場所	東海大学伊勢原キャンパス
						内容	健康や生活、福祉などの基礎知識、体力作りのための基礎技術
						参加者数	35名
成果及び課題	生涯学習に対するニーズが高まる中、市民が健康、生活、福祉や運動についての基礎知識を学ぶことができた。						
5	市民のための図書館教養講座	継続	教育部 図書館・子ども科学館	理学部 化学科 関根 嘉香 教授	市民の読書意欲や知的探究心の向上を図るとともに、社会教育施設として生涯学習の普及啓発を図るため教養講座を開催する。	期日	11月17日
						場所	市立図書館AVホール
						内容	皮膚ガスとは何か-体臭は心と体のメッセージの講座
						参加者数	53名
成果及び課題	汗臭、加齢臭、疲労臭などの原因とその対策のほか、皮膚ガスを心と体のヘルスケアに活用する研究例などを紹介した。						

(5) 産業、観光等地域経済の振興に関すること

番号	事業名	区分	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施結果（令和7年3月末日時点）	
1	道灌まつりポスターデザイン	継続	経済環境部 商工観光課	教養学部 芸術学科 池村 明生 教授	東海大学の学生による道灌まつりのポスターデザインを行う。	期日	6月～8月末
						場所	教養学部芸術学科 池村ゼミ内
						内容	道灌まつりのポスターデザイン、のぼり旗のデザイン制作
						参加者数	7名
成果及び課題	7名7作品の中から1作品を選定し、まつりのプログラム及びポスターデザインに起用したほか、協賛広告の1つであるのぼり旗のデザインとしても活用した						
2	平成大山プロジェクト推進協議会	継続	経済環境部 商工観光課	観光学部 観光学科 西尾 敏 特任教授	神奈川県の新たな観光の核づくり事業の認定を受け、かつての「大山講」のように多くの名が訪れたにぎわいのある大山の再現を目指す。	期日	8月9日
						場所	伊勢原シティプラザ ふれあいホール
						内容	平成大山講プロジェクト推進協議会の今後等
						参加者数	19名
成果及び課題	当協議会の解散が決定された。						
3	TOKAIグローバルフェスタ湘南マリンエ outlet	継続	経済環境部 商工観光課 (観光協会) 教育部 教育総務課 歴史文化担当	学長室総務(地域連携・後援会)担当	東海大学湘南キャンパスに特産品を販売・PRするスペースを開設し、伊勢原市の魅力や情報を発信する。	期日	10月12日
						場所	東海大学湘南キャンパス
						内容	伊勢原の特産品を販売・日本遺産大山詣り体験
						参加者数	—
成果及び課題	来場者に特産物をPRする機会となった。						

(6) 大学の学術研究における行政情報の提供に関すること

番号	事業名	区分	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施結果（令和7年3月末日時点）
----	-----	----	-------	------------	------	--------------------

該当なし

(7) 市及び大学施設の相互利用に関すること

番号	事業名	区分	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施結果（令和7年3月末日時点）
----	-----	----	-------	------------	------	--------------------

1	東海大学孀恋高原研修センター施設利用	継続	企画部 経営企画課	理事長室 学園総務担当	群馬県吾妻郡孀恋村にある「東海大孀恋高原研修センター」について、伊勢原市民が東海大学関係者と同じ割引価格で利用できる。	期日	通年
						場所	東海大学孀恋高原研修センター
						内容	センターの宿泊場所及び付随施設の提供
						参加者数	—
						成果及び課題	市HP及び広報いせはらにて周知しているが、施設の利用についての認知度が低い。
2	2024年度東海大学医学部解剖慰霊祭	継続	市民生活部 市民協働課 市民文化会館	メディカルサイエンス スカラーズオフィス (教学・図書)/事務 部事務課(総務)	東海大学医学部解剖慰霊祭について、市民文化会館を使用して実施する。	期日	10月17日
						場所	市民文化会館 大ホール
						内容	解剖慰霊祭
						参加者数	502名
						成果及び課題	施設の相互利用に係る協力のもと、解剖慰霊祭が市民文化会館において開催された。
3	Spring CONCERT2024	継続	市民生活部 市民協働課 市民文化会館	東海大学吹奏楽研究会	東海大学吹奏楽研究会Spring CONCERT2024について、市民文化会館を使用して実施する。	期日	4月7日
						場所	市民文化会館 大ホール 他
						内容	Spring CONCERT2024
						参加者数	479名(内 学生100名)
						成果及び課題	施設の相互利用に係る協力のもと、Spring CONCERTが市民文化会館において開催された。
4	SUMMER CONCERT2024	継続	市民生活部 市民協働課 市民文化会館	東海大学吹奏楽研究会	東海大学吹奏楽研究会SUMMER CONCERT2024について、市民文化会館を使用して実施する。	期日	7月7日
						場所	市民文化会館 大ホール 他
						内容	SUMMER CONCERT2024
						参加者数	807名(内 学生130名)
						成果及び課題	施設の相互利用に係る協力のもと、SUMMER CONCERTが市民文化会館において開催された。
5	AUTUMN CONCERT2024	継続	市民生活部 市民協働課 市民文化会館	東海大学吹奏楽研究会	東海大学吹奏楽研究会AUTUMN CONCERT2024について、市民文化会館を使用して実施する。	期日	10月13日
						場所	市民文化会館 大ホール 他
						内容	AUTUMN CONCERT2024
						参加者数	1,129名(内 学生115名)
						成果及び課題	施設の相互利用に係る協力のもと、AUTUMN CONCERTが市民文化会館において開催された。
6	【新規】 東海大学 医学部医学科 白衣授与式	新規	市民生活部 市民協働課 市民文化会館	メディカルサイエンス スカラーズオフィス (教学・図書)	東海大学医学部医学科4年生への白衣授与式について、市民文化会館を使用して実施する。	期日	9月27日
						場所	市民文化会館 大ホール
						内容	白衣授与式
						参加者数	200名(内 学生104名)
						成果及び課題	施設の相互利用に係る協力のもと、白衣授与式が市民文化会館において開催された。

7	【新規】 東海大学医学部・医学部附属病院創設50周年記念式典	新規	市民生活部 市民協働課 市民文化会館	事務部事務課 (総務)	東海大学医学部・医学部附属病院創設50周年記念式典について、市民文化会館を使用して実施する。	期日	2月15日
						場所	市民文化会館 大ホール
						内容	東海大学医学部・医学部附属病院創設50周年記念式典
						参加者数	915名
						成果及び課題	施設の相互利用に係る協力のもと、医学部・医学部附属病院創設50周年記念式典を市民文化会館において開催された。
8	【新規】 東海大学医学部医学科学学位授与式	新規	市民生活部 市民協働課 市民文化会館	メディカルサイエンスカレッジオフィス (教学・図書)	東海大学医学部医学科学6年生への学位授与式について、市民文化会館を使用して実施する。	期日	3月25日
						場所	市民文化会館 大ホール
						内容	学位授与式
						参加者数	175名
						成果及び課題	施設の相互利用に係る協力のもと、医学科学学位授与式を市民文化会館において開催された。
9	伊勢原市立図書館と東海大学図書館の相互利用協定	継続	教育部 図書館・子ども科学館	学長室(図書館担当)	市民と東海大学職員・学生の図書館の相互利用を行う。	期日	随時
						場所	市立図書館及び東海大学附属図書館
						内容	東海大学附属図書館の資料の貸出
						参加者数	1名
						成果及び課題	東海大学附属図書館は、令和6年12月1日(日)より一部利用再開

(8) その他

番号	事業名	区分	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施結果(令和7年3月末日時点)	
1	伊勢原市デジタル移動通信システム連絡協議会	継続	企画部 危機管理課	事務部事務課(総務) 齋藤 祐佳 係長	デジタル移動通信システムの管理及び運用基準について確認を行う。	期日	4月18日
						場所	書面開催
						内容	デジタル移動通信システムの運用等確認
						参加者数	14名
						成果及び課題	防災技術及び知識を向上させることができた。
2	伊勢原市総合防災訓練	継続	企画部 危機管理課	事務部事務課(総務) 齋藤 祐佳 係長	災害時応援協定に基づく災害時医薬品の調達、災害時医薬品の搬送について、総合防災訓練を通じて、役割分担等の確認を行う。	期日	1月26日
						場所	東海大学医学部附属病院、伊勢原高校ほか
						内容	災害時医薬品の調達・搬送訓練
						参加者数	数名
						成果及び課題	関係機関との連携体制を強化できた。
3	風水害対策訓練	継続	企画部 危機管理課	医学部 医学科 総合診療学系 中川 儀英 教授 情報理工学部 情報メディア学科 内田 理 教授	東海大学が独自に開発した、避難所の情報共有システムを訓練に合わせて操作確認を行う。	期日	6月2日
						場所	高部屋小学校
						内容	災害時の情報共有システム入力訓練
						参加者数	2名
						成果及び課題	関係機関との連携体制を強化できた。

4	【新規】 伊勢原市議会議員研修	新規	議会事務局 企画部 危機管理課	情報理工学部 情報メディア学科 内田 理 教授	防災DXについて、 研修会を開催し、防 災DXの知識・技術 の醸成を図る。	期 日	1月27日
						場 所	市役所 全員協議会室
						内 容	災害時におけるデジタル技術活用など
						参加者数	24名
						成果及び 課題	防災DXの知識啓発と防災意識の醸成を図った。
5	【新規】 (仮称)災害時医療実行会議	新規	企画部 危機管理課 保健福祉部 健康づくり課	医学部 医学科 総合診療学系 中川 儀英 教授ほか	災害時医療拠点病院 (東海大学医学 部付属病院)、災害 時指定病院(伊勢 原協同病院)とが連 携した災害時医療 対策が実施するた めの検討を行う。	期 日	10月18日、12月10日
						場 所	東海大学伊勢原キャンパス 1号館2階 第1会議室
						内 容	災害時の医療対策の実効性に向けた課題整理 を行った。今後継続的に開催する。
						参加者数	80名
						成果及び 課題	災害時医療対策の実効性を確保した。
6	就業体験学生(イ ンターンシップ)実 習事業	継続	総務部 職員課	政治経済学部 政治学科 小林 隆 教授	行政に参加する機 会と情報を学生に 提供する。	期 日	8月5日～8月9日
						場 所	市役所ほか
						内 容	各所属における行政実習体験
						参加者数	1名
						成果及び 課題	地域の大学と連携した名的資源の活用が図られた。
7	伊勢原市平和史料 収集事業	継続	市民生活部 市民協働課	文化社会学部 広報メディア学科 水島 久光 教授	①平和史料収集事 業(平和史料展示、 史料のデータベ ース化、平和ドキュ メンタリー映像制作等) の実施に向けて、事 業の進め方への協 議をするとともに、撮 影等については学 生に協力してもら う。 ②中学生ヒロシマ平 和の旅と平和を祈 念するパネル展示 を監修してもらい、 中学生平和学習事 業及び市民への平 和啓発事業をより実 効性あるものとし る。	期 日	平和の旅:8月5日・6日 パネル展示:8月23日～25日 令和7年4月24日(平和ドキュメンタリー映像公開)
						場 所	平和の旅:広島市内 パネル展示:市民文化会館展示室1・2 撮影地:大山地区(平和ドキュメンタリー映像)
						内 容	中学生ヒロシマ平和の旅 平和を祈念するパネル展示 映像の撮影及び編集(平和ドキュメンタリー映像)
						参加者数	平和の旅:市立中学校3年生8名、随行教諭2 名、水島研究室4名 パネル展示:来場者285名 視聴者数236回(5/8時点)
						成果及び 課題	市民の平和意識の啓発に向け、教授に展示や 旅の監修及び説明をしていただくことで、平和 の尊さ・戦争の悲惨さへの理解を深めることが できた。平和事業における若年層の参加者数を 増やすために、効果的な周知を実施することが 今後の課題である
8	【新規】 男女共同参画講 座	新規	市民生活部 人権・広聴相 談課	文化社会学部 北欧学科 浅井 亜希講師	男女共同参画社 会・ジェンダー平等 社会実現に向けた 意識の向上を図る ため男女共同参画 講座を開催する。	期 日	11月23日
						場 所	市民文化会館 リハーサル室
						内 容	伊勢原市男女共同参画講座「北欧から学ぶ ジェンダー平等」
						参加者数	23名
						成果及び 課題	北欧諸国における女性のライフスタイルや豊か に生きるための取組を日本と比較し、男女共同 参画社会・ジェンダー平等社会実現に向けた意 識向上の一助とすることができた。
9	治験審査委員会 (病院主催)	継続	保健福祉部 健康づくり課	医学部付属病院 治験審査委員会 委員長 馬淵 智生 教授	治験に先立って治 験の安全性と理論 性の審査を行う。	期 日	月1回実施
						場 所	オンライン開催
						内 容	治験薬審査
						参加者数	審査委員16名(市は1名)
						成果及び 課題	治験審査が適正に行われた。

10	神奈川県ドクターヘリ運行調整委員会 (病院主催)	継続	保健福祉部 健康づくり課	医学部付属病院 高度救命救急センター 守田 誠司 教授	ドクターヘリの効果的かつ安定的な運行に必要な諸機関の調整・広報・調査及び検証を行う。	期日	5月27日
						場所	東海大学伊勢原キャンパス 松前記念講堂
						内容	神奈川県ドクターヘリ運航実績報告等
						参加者数	70名
						成果及び課題	ドクターヘリ事業の検証等を行った。
11	放課後子ども教室	継続	子ども部 青少年課	学生	放課後の時間に児童が学習や工作、スポーツ等の活動を通して、地域の大名や学生など様々な年齢の名々とふれあう。	期日	5月～3月
						場所	市内10小学校
						内容	工作教室、科学実験、スポーツ体験、マジックショー、自主学習など
						参加者数	伊勢原小学校:61名、石田小学校:85名、竹園小学校:71名、成瀬小学校:92名、比々多小学校:80名、大山小学校:21名、桜台小学校:132名、高部屋小学校:70名、緑台小学校:83名、大田小学校:74名
						成果及び課題	放課後子ども教室の運営を支援するボランティア募集を計画していたが、コロナ禍の影響等により、従事する学生に対して募集を依頼するまでには至っていない。
12	伊勢原市スマートモビリティ社会に向けたまちづくりの構想に関する研究会	継続	都市部 都市政策課	建築都市学部 土木工学科 梶田 佳孝 教授	近未来のスマートモビリティ社会に向けたまちづくり構想骨子案に基づき、産官学連携による具体の取組方策の検討等を進める。	期日	①8月21日②10月23日 ③1月10日④3月5日
						場所	市役所 全員協議会室
						内容	①令和6年度研究会の進め方 他 ②新たな地域拠点の考え方 他 ③地域住民へのアンケート調査の内容 他 ④まちづくり構想の検討まとめ 他
						参加者数	①11名②13名 ③12名④13名
						成果及び課題	豊富な知見により議論にご助力いただくとともに、まちづくり基本構想骨子案の作成に寄与いただいた。
13	伊勢原市教育委員会点検評価 (外部有識者による意見)	継続	教育部 教育総務課	文学部 歴史学科 考古学専攻 有村 誠 教授	教育委員会所管事業の点検評価について、外部有識者の視点から意見を述べる。	期日	8月～9月 (会議は8月6日に開催)
						場所	市役所 第3委員会室
						内容	令和5年度教育委員会所管事業の点検評価に対する意見
						参加者数	各15名程度
						成果及び課題	専門の見地から御意見をいただいた。
14	【新規】 伊勢原市立小中学校の望ましい学校規模等に関する在り方検討会議	新規	教育部 教育総務課	総合教育センター 資格教育センター 学校教育学系 朝倉 徹 教授 建築都市学部 土木工学科 梶田 佳孝 教授	伊勢原市立小学校及び中学校の適正規模及び適正配置について検討を行う。	期日	①7月23日、②9月17日、③11月22日、④1月24日
						場所	市役所 議会委員会室等
						内容	伊勢原市立小学校及び中学校の適正規模・適正配置の検討
						参加者数	各30名程度
						成果及び課題	専門の見地から御意見をいただいた。
15	養護実習	継続	教育部 学校教育課	医学部 看護学科 井上 玲子教授	教育実習生受入依頼を受けた場合、市内中学校が直接受入れを行う。	期日	5月13日～6月7日
						場所	大田小
						内容	養護教諭教育実習
						参加者数	1名
						成果及び課題	養護教諭の職務を実践的に学ぶ場を提供できた。

16	ショートインターンシップ	継続	教育部 学校教育課	児童教育学部 児童教育学科 前田 晶子 教授	インターンシップ受入依頼を受けた場合、市内小学校が直接受入れを行う。	期日	9月
						場所	伊勢原小・高部屋小・大田小
						内容	2日間の見学・体験
						参加者数	3名
						成果及び課題	大学1年生が出身地での見学・体験を行う場を提供することができた。
17	学校体験活動	継続	教育部 学校教育課	児童教育学部 児童教育学科 前田 晶子 教授	学校体験活動受入依頼を受けた場合、市内小学校が直接受入れを行う。	期日	6月
						場所	比々多小・成瀬小
						内容	5日間の見学・体験
						参加者数	10名
						成果及び課題	大学2年生が見学・体験を行う場を提供することができた。
18	いせはらスクール・ボランティア	継続	教育部 学校教育課	総合教育センター 資格教育センター 学校教育学系 朝倉 徹 教授	ボランティア活動受入依頼を受けた場合、市内小中学校が直接受入れを行う。	期日	6月～3月
						場所	大山小・伊勢原中
						内容	鼓笛指導・個別支援
						参加者数	2名
						成果及び課題	希望する大学生に小中学生とふれあう場を提供することができた。
19	いせはらスクール・ボランティア	継続	教育部 学校教育課	医学部 看護学科 井上 玲子 教授	ボランティア活動受入依頼を受けた場合、市内小中学校が直接受入れを行う。	期日	2月～3月
						場所	—
						内容	保健室業務の手伝い
						参加者数	—
						成果及び課題	—
20	【新規】 社会教育実習	新規	教育部 社会教育課	総合教育センター 資格教育センター 社会教育学系 古里 貴士 准教授 総合教育センター 伊藤 雅子氏、衛藤 奈々子氏	社会教育主事課程の一環として、実習受入依頼を受けた場合、社会教育課が直接受入れを行う。	期日	実習1:1月15日 実習2:6月30日～12月7日のうち40時間(実習日は実習生により異なる)
						場所	中央公民館 他
						内容	実習1:施設見学、職員による職業講話 実習2:社会教育課事業に従事
						参加者数	実習1:20名 実習2:3名
						成果及び課題	社会教育施設の役割や機能への理解を深めた。
21	学校訪問教育相談研修会	継続	教育部 教育センター	医学部 医学科 専門診療学系 高橋 有記 講師 文化社会学部 心理・社会学科 中島 香澄 教授	市内小中学校において、精神科医、臨床心理士などの専門家を講師に招き、事例検討会を行う。	期日	①6月10日②7月29日③10月3日 ④10月21日⑤10月28日
						場所	各小中学校
						内容	不登校や多動等、集団生活にうまく適応できない児童生徒についての事例研究・情報交換等
						参加者数	各回10名～40名程度
						成果及び課題	専門的な見地から児童生徒の理解を深める機会となった。

22	ハートフルフレンド活用事業 ※「学生ボランティア活用事業」から名称変更	継続	教育部 教育センター	健康学部 健康マネジメント学科 小林 理 教授 総合教育センター 榎本 雅子氏	話し相手がない、仲間に入りづらい、集団活動に適応しにくい等の児童生徒を対象に、友人、家庭関係及び学習についてなどの心配事を気軽に相談したり、話を受け止めたりすることができるハートフルフレンドとして学生ボランティアを配置し、教育相談の充実を図る	期 日 通年
						場 所 市内小中学校
23	東海学級連絡協議会	継続	教育部 教育センター	医学部 医学科 総合診療学系 小池 隆志 講師 事務部事務課(総務) 桑久保 ひとみ 課長	東海学級(院内学級)の管理・運営及び伊勢原市教育委員会と東海大学医学部付属病院との連絡・調整を行う。	期 日 ①5月14日②11月5日③2月18日(③は書面開催)
						場 所 東海大学医学部付属病院
24	教育支援教室 スーパービジョン	継続	教育部 教育センター	文化社会学部 心理・社会学科 中島 香澄 教授	様々な課題を抱えた子どもたち、その家族に対して専門的に接するには、知識・経験・名格・コミュニケーションの技術が必要であるため、適応指導教室に携わる職員の技術・名間性の向上のために、スーパーバイザーによる指導を仰ぐ場とする	期 日 12月9日
						場 所 教育支援教室「やまどり」
25	教育センター・教育支援教室施設 見学実習	継続	教育部 教育センター	文化社会学部 心理・社会学科 菅沼 真樹 准教授 中島 由宇 准教授	公認心理師養成にかかる「心理実習」を受け入れる。	期 日 6月13日
						場 所 教育センター
						内 容 公認心理師養成にかかる学部4年生への実習指導
						参加者数 3名
						成果及び課題 心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ、多職種連携及び地域連携、公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解の獲得に寄与した。